

建築人7

2019





大阪ホンマもん

建築人

7
2019

目次

2 大阪ホンマもん

4 インフォメーション・事業案内

6 動静レポート

7 Topics

8 Gallery 建築作品紹介

松山東雲女子大学・短期大学 A館
設計 竹中工務店 施工 竹中工務店

カトリック芦屋教会 司祭・信徒館
設計 安井建築設計事務所 施工 コーナン建設

認定こども園砂川幼稚園
設計 葉・一級建築士事務所 施工 杉本建設

11 記憶の建築 松隈 洋

新潟市美術館 一九八五年
第2の故郷新潟に残した遺作

12 第11回建築人賞発表

22 理事会報告 建築相談室から 編集後記

変化する建築士会

副会長 田中 義久



最近の建築士会の動向として、内部的な委員会活動の充実と対外的には各種団体との協働を図る動きが活発です。

具体的には研修部門や事業部門、建築表彰部門、建築情報部門など建築専門家向けに、一般社会に向けた社会貢献部門の充実を図り、社会からの要望に即した変貌を遂げつつあります。

また、府内市町村の首長への表敬訪問やその関連団体との連携を図り、弁護士会や複数の不動産関連団体、さらに新たに上海市建築学会との協定を結ぶなどそのネットワークは大いに広がっています。

これは「建築」というキーワードの様々な情報の流れのネットワークとしてのプラットフォームを形成しつつあるといえます。

一般社会にとっては情報の収集の拠り所として、専門家にとっては情報を発信したり収集・活用してビジネスチャンスにつなげ、その両者をつなぐ場としてのプラットフォームであるといえます。

変化のスピードが速くなれば求められる情報やチャンネルの種類も増えることにもなり、建築士会員の可能性や一般社会へのサービスの幅もますます広がることになるでしょう。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪府南部に位置する田尻町。大阪湾に面するこの小さな町は、沖合いに浮かぶ関西国際空港に面しており、国から交付税を受け取らなくても独自の税収で財政運営ができる数少ない「不交付団体」となっている。今回は、この小さな町の洋館「田尻歴史館（旧谷口房蔵別邸）」を取りあげる。

この建物は、田尻出身であった大阪合同紡績株式会社社長の谷口房蔵氏が、故郷に谷口綿布工場を興し、その向かい側に別邸として建てられた。

全体としては洋館と和館、茶室、土蔵で構成されており、洋館は二階建ての煉瓦造とされた。手の込んだステンドグラスが各室に配され、ホールの壁には西陣織の布が用いられ、和と洋を上手く融合している。ユージェント・スタイルの影響を感じさせる様式は、大正期の洋館の特徴ともいえる。

大正一二年（一九二三年）に竣工したこの洋館は、平成四年（一九九二年）に町が取得し、翌年にまちの文化振興の拠点として田尻歴史館（愛ランドハウス）として開館。平成一七年（二〇〇五年）には大阪府指定文化財に指定、二年後には近代化産業遺産としての認定も受けている。現在は休館中で、耐震補強等保存修理工事を実施し、リニューアルオープンを目指している。

紡績業で富を築いた谷口氏は、故郷の雇用拡大や公共事業にも私財を投じてまちの発展に貢献をした。今度は田尻町の人々が、不死鳥のごとくこの洋館を再生させて頂きたい。

所代表、元シーザーベリー&アソシエーツジャパン執行役員・大阪事務所所長)を迎え、「SDGsの視点からニューヨークの都市公園を読み解く」と題して、パークマネージメントについての最新事例報告を実務者の視点で語って頂きます。
ぜひ、ご参加下さい。
日時 7月19日(金) 18:30~20:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 50名(申込先着順)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
学生・大阪府建築士会新入会員
(2018年度以降入会)無料
懇親会 会費4,500円(予定)

建築士の会「堺・高石」我がまち再認識&カフェ～泉北ニュータウンとその周辺の変化～
7/28 CPD2単位(予定)

泉北ニュータウンやその周辺では、土地や建物の利用転換やリノベーション・リフォームなどの変化が起きています。それらを巡り、地元で仕事や活動をされている方のお話を聞き、まちの未来を探ります。
日時 7月28日(日) 9:45~16:30
会場 樟塚台レストラン、府営住宅や戸建空家の福祉転用、農家をリノベーションした「そば処片蔵」・「畑キッチン結」、大阪府住宅供給公社茶山台団地、レモンの街ストーリー、DIYモデルルーム・工房、桜井神社、上神谷米産地田園地帯(専用車で移動)
定員 15名(申込先着順。締切7/16)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
昼食及びお茶費用別途
当日運営にご協力頂ける堺市内在住又は在学の学生スタッフを募集(定員15名のうち2名。参加費不要)

**建築課外授業Vol.4
童謡の故郷「龍野」旧城下町とうすくち醤油資料館見学**
8/3 CPD4単位

童謡赤とんぼの里、白壁と醤油蔵がつづく小さな城下町「播磨の小京都」龍野を訪ねます。うすくち竜野醤油資料館から担保乃糸資料館を見学しうめんの里で本場そうめん料理をいただきます。昼からは醤油蔵の続く街並みや白壁の美しい武家屋敷通りを街歩きします。ぜひ、ご参加下さい。
日時 8月3日(土)
9:15 JR姫路駅 集合
16:00 JR本竜野駅 解散
定員 40名(申込先着順)
参加費 会員2,500円 会員外3,000円
※交通費:本竜野～東背崎 往復、資料代・昼食代 含む。

**第63回大阪建築コンクール
受賞者講演&トークセッション**
10/18 CPD2単位(予定)

大阪建築コンクールは、建築士と社会との関わりを通じて建築作品を評価し、そのすぐれた実

績をたたえ、建築作品の設計者である本会会員を表彰するものです。第63回を迎えた今回、大阪府知事賞および渡辺節賞の受賞者による講演会を企画いたしました。
受賞作品のお話はもちろん、建築に対するそれぞれの思いを語っていただきます。また、審査委員とのトークセッションやパネル等の展示も行います。
日時 10月18日(金) 19:00~20:40
会場 大阪工業大学梅田キャンパス203
大阪市北区茶屋町1-45
参加費 無料(申込不要)

木の本質を学び森と水の恵みを考える研修ツアー
10/19、10/20 CPD8単位

吉野林業発祥の地 川上村にて木材の川上から川下までを学ぶ見学バスツアーです。380年人工美林を体験し、200年杉伐倒見学、巨大ダム内部見学、吉野杉の家見学など盛りだくさんな内容です。川上村企画サポートによる自然を堪能するツアーです。
日時 10月19日(土) 10:00
大和上市駅集合(時間厳守)
場所 奈良県川上村にて
定員 35名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員22,000円
後援団体会員24,000円
一般26,000円

Administration

行政からのお知らせ

「第33回大阪市ハウジングデザイン賞」推薦募集

大阪市内で魅力ある良質な「共同住宅」「長屋」「戸建住宅の集合」を表彰します。
募集期間 令和元年6月20日(木)~7月20日(土)
対象となる集合住宅 大阪市内で建設された「共同住宅」「長屋」「戸建住宅の集合」で、次に該当するもの
①新築 平成26年4月1日から令和元年5月31日の間に建築したもの(概ね築5年以内)。
②既存建物の改造等 平成26年4月1日から令和元年5月31日の間に優れたリフォームやリノベーション等をしたもの(概ね工事後5年以内)。
③維持管理 平成11年5月31日までに建築し良好な維持管理がなされているもの(築20年以上)。
※大阪市、大阪市住まい公社及び独立行政法人都市再生機構等の公的団体が①②③の事業者等である住宅を除きます。
問合 大阪市都市整備局企画部住宅政策課
民間住宅助成グループ
Tel.06-6208-9226

推薦いただいた方の中から、抽選で50名様に図書カード(500円分)をプレゼントします。

令和元年度建設リサイクル法説明会(第1回)
8/1

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)」のほか、建築物等の解体等作業に伴うアスベスト関係法令等に関する説明会を開催します。
主催 大阪府内建築行政連絡協議会建設リサイクル部会(大阪府と建築主事を置く府内17市で構成)
日時 8月1日(木) 13:30~16:30
(受付開始13:00)
会場 大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー)2F 咲洲ホール
大阪市住之江区南港北1-14-16
定員 200名 参加費 無料
申込期間 6月3日(月)~7月25日(木)
(但し、定員に達し次第締切)
問合 大阪府住宅まちづくり部建築指導室
審査指導課開発許可グループ
Tel.06-6941-0351(内線3092)

Others

その他のお知らせ

**住宅メンテナンス診断士[®]講習会
第43回大阪会場**
8/6 CPD5単位(予定)

木造住宅「メンテナンス・維持管理」の基礎講習会です。
主催 (一社)住宅長期支援センター
内容(予定)
・住宅のメンテナンスとその診断
・住宅のメンテナンス診断業務の基本と流れ
・木材劣化とその診断技術
・外装の劣化と診断
・調査・点検と「いえるて」の活用事例
・資格認定試験
日時 8月6日(火) 9:25~16:50
会場 新大阪丸ビル別館4-3会議室
大阪市東淀川区東中島1-18-22
最寄駅 JR新大阪駅(東口下車)
定員 80名(先着順受付)
申込締切 7月30日(火)
但し、定員になり次第締切
問合 (一社)住宅長期支援センター
Tel.06-6941-8336

**令和元年度木造建築技術基本研修会
さがね術の基本講座**
8/25・9/29・10/27・11/24

建築技能者及び建築技能修得希望者等を対象として、木造建築在来工法の基礎となる「さがね術の基本」を4日間で修得いただきます。
主催 (一財)大阪住宅センター
日時 8月25日(日)、9月29日(日)
10月27日(日)、11月24日(日)
会場 (一財)大阪住宅センター会議室
大阪市中央区南船場4-4-3
心斎橋東急ビル4F
定員 20名
受講料 7,000円(4日間通し)
問合 (一財)大阪住宅センター
Tel.06-6253-0252

**第65回 アイカ現代建築セミナー
大阪会場**
9/26 CPD2単位

MA Yansong(マー・ヤンソン)氏による近作についてのセミナーです。
主催 アイカ現代建築セミナー実行委員会
講師 MA Yansong/MAD Architects
テーマ 「近作について」
日時 9月26日(木) 18:30~20:00
(開場18:00)
会場 大阪国際会議場メインホール1F
大阪市北区中之島5-3-51
定員 1,700名
入場無料(申込制・応募者多数の場合抽選)
申込期間 5月7日(火)~7月31日(水)
18:00まで
申込方法 下記のHPより必要事項を入力
申込先 <http://www.aica.co.jp/seminar/>
問合 アイカ現代建築セミナー実行委員会事務局(株建報社内)
Email: aicaseminar@kenchiku.co.jp

第3回片岡安賞(日本建築協会論考コンクール)

日本建築協会100周年を機にスタートした論考コンクールも3年目を迎えました。今年度も第3回目の論考の募集をします。
主催 (一社)日本建築協会
募集テーマ 建築におけるダイバーシティとは
審査方法 全審査委員による査読の上、一次審査を行う。一次審査により選出されたものを対象とし、公開プレゼンテーションを開催する。その後最終審査を行い、受賞論考を決定する。
執筆要領 頁数は、会誌『建築と社会』掲載時4頁(12,000文字程度)。
応募締切 10月31日(消印有効、電子投稿の場合23時50分)
提出先 (一社)日本建築協会
Tel.06-6946-6981
詳細は、日本建築協会HPをご覧ください。

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご活用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価等
(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合、評価手数料の10%割引があります。

詳細は、本会ホームページをご覧ください。

監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)
7/2、9/4 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。

日程 7月2日(火)・9月4日(水)
※10月以降も開催を予定しています。
時間 8:55～17:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 各回30名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習7/11 CPD5単位

平成28年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」に関する説明が義務付けられました。調査の実施は、登録機関の講習を修了した建築士の方に認められており、建築士の新たな業務として期待されています。

日時 7月11日(木) 10:00～17:50

会場 大阪府建築士会会議室
定員 40名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込21,060円
郵送申込21,600円

<申込方法>

日本建築士会連合会HPよりお申込みください。

建築士法にもとづく建築技術講習会 京都スタジアム建築技術講習会 7/30 CPD3単位

本講習会では、「京都スタジアム」に用いられている新技術や現場の工夫などについて本建物の設計担当者・施工担当者から解説していただき、全貌をわかりやすく紹介します。当日の施工状況として、屋根鉄骨建方が完了した段階であり、躯体工事完了後の状況をご覧頂けます。

日時 7月30日(火) 14:00～16:30
会場 京都スタジアム
定員 50名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員3,500円
後援団体会員4,500円
一般5,500円 学生1,000円

大阪府知事指定講習

既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》
9/4・12/4 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習会は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①9月4日(水) ②12月4日(水)
時間 10:00～15:50
会場 大阪府建築健保会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 各100名(定員になり次第締切)
受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,200円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

大阪府知事指定講習

既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》
8/2・1/29 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。

日程 ①8月2日(金) ②1月29日(水)
時間 9:30～16:00
会場 大阪府建築健保会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 各120名(定員になり次第締切)
受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

建築士定期講習

8/8、9/19、10/28、11/28、12/17
CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成28年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

日程・会場・定員

※8/8(木)	大阪国際会議場	200名
9/19(木)	大阪国際交流センター	200名
※10/28(月)	大阪国際会議場	200名
11/28(木)	大阪府建築健保会館	90名
※12/17(火)	大阪府建築健保会館	90名

時間 9:15～17:00(各講習日共)
受講料 12,960円(消費税含。事前振込)
申込書配布場所 大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局又は、建築技術教育普及センターHPからダウンロード(平成28年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)

申込方法

上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送。
受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

https://jaeictkosyu.jp/jaeichteikikosyu/
(注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

令和元年度 大阪府ヘリテージマネージャー育成講座(全10日間)

8/24・9/7・9/28・10/5・10/12・11/2・11/16・12/7・12/21・1/18(予定)
CPD1日4単位(予定)

本講座は、文化庁の補助を受け、大阪府のさらなる歴史文化遺産を発見し、既に指定されている文化財建造物や登録文化財等の活用と保存を推進し、まちづくりに活かす能力を持った人材“ヘリテージマネージャー”を育成することを目的に行う講習会です。全10日間の講座(講義時間数は例年通り合計40単位)で歴史、修復技術、実測実習、保存活用などの基礎を学びます。

日程 8/24・9/7・9/28・10/5・10/12・11/2・11/16・12/7・12/21・1/18(予定)
時間 各13:00～17:00
会場 調整中
募集 20名(申込先着順)
受講料 会員25,000円 会員外30,000円(予定)

詳細発表

7月22日(月)予定、申込は本会ホームページからWEB申込してください。
※詳細は本会ホームページをご覧ください。

第39回大阪都市景観建築賞推薦募集 推薦期間7/1～7/31

美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、周辺景観の向上に資し、かつ、景観上優れた建物やまちなみを表彰します。皆様から推薦いただいた建物や建物を中心としたまちなみについて審査し、賞が与えられます。

対象 大阪府域内の「建物」及び「建物を中心としたまちなみ」

建物 平成26年8月1日から平成30年7月31日までに完成したもの

建物を中心としたまちなみ 平成30年7月31日までに完成したもの

受付期間 令和元年7月1日(月)～7月31日(水)

推薦方法 HP(<http://osaka-machinami.jp/>)から電子推薦してください。設計者等の自薦の方は、自薦専用書式をHPよりダウンロードし応募ください。

木造建築の現状と技術的可能性講習会 ～グローバルトレンドと将来的展望～ 7/6 CPD3単位

「木造建築の現状と技術的可能性」は、前回の木質系大スパン建築物の可能性に続き、都市における中大規模建築物への木材利用促進を広範囲に進め、一般化していくために何が必要かを日本の現状と海外事例の分析により追求し、新しい技術、法制度、経済的課題などについて具体的な方策を紹介する企画です。CLT建築物の普及と障害要因とそれを克服する国際的な情報と技術、特に接合部、さらにNLT(Nail Laminated Timber)の利用メリットについても解説します。

共催 大阪府木材連合会、関西広域木造建築普及促進協議会
日時 7月6日(土) 13:30～
会場 林野庁 近畿中国森林管理局
講師 京都大学 生存圏研究所教授 五十田博
カナダ林産業審議会日本代表 ショーン・ローラー
SMB建材株式会社構造事業本部長 兼 木構造建築部長 小川嘉男
最寄駅 JR桜ノ宮駅下車西口徒歩5分
参加費 本会・共催団体会員1,000円 一般2,000円
昨年度および本年度入会会員・学生500円
懇親会費 5,000円
定員 80名(申込先着順)

国際茶楼Vol.6

「グランドゼロからの出発 ニューヨーク海外研修」報告会—SDGsの視点からニューヨークの都市公園を読み解く—
7/19 CPD2単位

今年の2月に開催した建築士会海外研修旅行の報告会を行います。さらに、アメリカでの滞在経験のある高原浩之氏(株)HTAデザイン事務

会長動静

- 5/28 日本建築士会連合会理事会
大阪府建築士事務所協会総会
- 5/29 大阪府収用委員会
和歌山県建築士会総会
- 6/ 4 まちづくり提言シンポジウム
- 6/ 6 KENTEN2019優良製品・技術表彰式
- 6/ 7 大阪府不動産鑑定士協会総会
- 6/11 提言書大阪商工会議所説明
- 6/13 京都府建築士会総会
- 6/17 大阪府収用委員会
- 6/19 理事会・正副会長会議
- 6/20 日本建築士会連合会総会
- 6/25 提言書関西経済同友会説明

社会貢献部門

茨木市長から大阪北部地震の本会活動 に対し感謝状を授与

昨年の大阪北部地震における被災者支援活動に対して、6月19日の理事会で福岡洋一茨木市長からの感謝状を岡本会長に贈呈いただきました。

本会は、大阪北部地震発生時に応急危険度判定士延べ68名、7月中旬から8月末まで毎日開催された「茨木市民の住宅無料相談会」に建築相談員を延べ65名派遣しました。



茨木市総務部の佐々木参事（右）と会長

運営部門

まちづくり提言書を大阪商工会議所及 び関西経済同友会に説明

在阪建築4団体の会長・支部長及び徳岡委員長は、関西の活性化を目的として4会共同で作成した「ARCHI-4 KANSAI 提言書」を、6月11日に大阪商工会議所の西村貞一副会頭他4名の幹部、6月25日に関西経済同友会池田代表幹事他2名の幹部にお会いして説明を行いました。

懇談では、提言内容の具体化方策や2025年の大阪・関西万博の終了後に関西経済等が停滞しないための対策が望まれ、提言の実現に向けて今後とも両会と連携することとしました。
なお、提言書は本会ホームページから閲覧していただくことができます。



大阪商工会議所幹部と建築4団体の皆様



関西経済同友会幹部と建築4団体の皆様

社会貢献部門

大阪府等と連携して国交省空き家モデル 補助事業に応募

本会は、国交省の「空き家対策モデル補助事業」に、大阪府及び「大阪の住まい活性化フォーラム」と共同で応募しました。本事業への応募は、昨年度泉佐野市と連携して行った「泉佐野市特定空家寄附受け事業」に続くもので、今年度は、「空き家等既存住宅流通市場活性化に資するインスペクション等普及啓発事業」です。本事業は、住宅売買時に売主・買主が安心して売買ができるよう、インスペクション及び瑕疵保険の普及・啓発による既存住宅流通市場の活性化を図り、空き家の発生を抑制しようとする取組です。今後、国交省の採択審査を経て、7月中旬頃に審査結果が公表されます。

社会貢献部門

枚方市総合防災訓練『枚方ひこ防' z 2019』への参加

昨年の大阪北部地震では枚方市で震度6弱を観測し、1年経った今、枚方市ではこの教訓を忘れず、震度6強を想定して、

市民が参加した防災訓練『枚方ひこ防' z 2019』を6月16日に実施しました。

訓練当日は午前9時に訓練を知らせるエリアメールを市民の携帯電話に流して注意喚起を行い、市内4か所の小学校の避難所を開設しての避難所運営訓練、枚方市駅前の公園に防災関連企業の啓発ブースを設置する等、市内の各所で一斉に防災訓練が行われました。

枚方市と市避難所の応急危険度判定の協定を結んでいる本会にも参加の要請があり、地域の判定士連絡網に登録している本会判定士6名が参加しました。

枚方市では、地震発生初動期は施設の所属職員が応急危険度判定を行うこととしており、参加した判定士は、枚方保健所の判定訓練に同行し、建物のチェックの方法や危険度の判断について、市職員にレクチャーしました。



枚方保健所における応急危険度判定訓練

運営部門

稲葉繁夫氏が黄綬褒章を受章

本会元役員の稲葉繁夫氏（㈱繁構造設計事務所相談役）が5月30日に、黄綬褒章を受章されました。

氏は46年以上に亘り建築構造設計に精励するとともに、昭和52年に本会に入会され、25年間本会役員として建築業界発展に寄与された功績が評価されました。氏は、昭和61年から現青年委員会の委員長として、青年層の活動拡大に尽力され、今日の青年委員会の礎を形創られました。また、4年間本会の監事を務められ、平成26年には建築物の耐震診断・補強設計を判定する第3者機関である本会「建築物耐震評価委員会」の設立及び副委員長として運営に重要な役割を果たされるなど、本会活動の中で多岐に亘って大きな功績を残されています。

「災害時における事業継続が可能な建築物の対策」

日程：平成 31 年 3 月 26 日（水） 会場：大阪府建築健保会館 6 階ホール 参加者：48 名

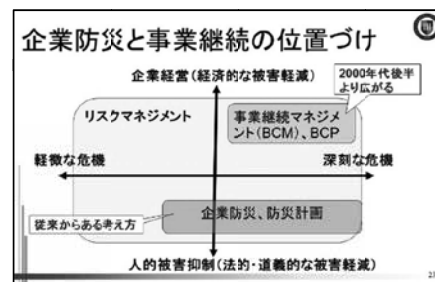
2018 年には多くの自然災害が身近に発生しました。台風により関空連絡橋にタンカーが衝突して鉄道と道路が閉鎖されるという、誰も想定していなかったことが起こることを目の当たりにし、また、物資供給の停滞や人手不足で復旧、復興が迅速には進まないということも実感されました。平成に起こった大震災をはじめ、多くの災害による日常生活や企業活動の支障を経験し、また発生確率が高まっている南海トラフ地震への備えから、近年 BCP という言葉が広く語られるようになって来ました。こうした背景の中、BCP として具体的に何をどう計画し、準備しておけば良いのかという疑問に答えてくれる講習会が開催されました。講習会の最初、「巨大災害に対応する BCP の重要性」と題した兵庫県立大学大学院の紅谷先生のお話では、昨年近畿圏を襲った地震と台風の被害を振り返りながら、直面した困難や対応上の教訓を

踏まえて、企業や自治体の BCP として何が重要なかが示されました。続いて「西宮市第二庁舎（危機管理センター）：防災拠点施設における BCP 対策」では、山下設計の河野さんから、自治体の防災・危機管理拠点として機能するための施設づくりについて、建築、設備両面からきめ細かく考えられた方策が語られました。さらに「河内長野ガス本社・防災支援施設における BCP の取組み」では、関西ビジネスインフォメーションの李さんと河内長野ガスの大本さんから、環境配慮と BCP・CCP（地域防災協力）を柱として設計された施設の紹介と実際の運用状況の説明がありました。建物のエネルギー使用が継続的にモニタリングされていると共に、自治体や市民団体との勉強会や住民参加のイベントなどを通じて BCP が地域や関係者に浸透しており、サステナビリティと BCP・CCP が日常的

富田昌義（研修委員会委員）



に一体化している素晴らしい事例でした。実際に災害が起こった時に本当に何が役立つのかを考えた時、施設整備や備蓄といったハードウェアの充実と共に、BCP が十分機能するためのしっかりとしたソフトウェアも欠かせません。そして BCP が日常生活や仕事の中に組み込まれていれば、いざというときによりスムーズに機能するに違いありません。そのために、今後もあちこちで起こると思われる災害から教訓や知見を得て共有し、BCP をより実効性の高いものに見直していくことが重要であるということを強く感じた講習会でした。



ARCHI-4KANSAI まちづくり提言シンポジウム報告

日時：令和元年 6 月 4 日（火） 会場：竹中工務店いちょうホール 参加者：130 名

在阪建築四団体（本会、大阪府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会）は、2025 年大阪・関西万博を視野に入れ関西のまちを未来へ発展させる共同提言を策定し、提言に関する本シンポジウムを開催しました。まず、提言委員会の徳岡浩二委員長から主旨説明があり、続いて各提言委員より、関西の環境・文化や人材を活かし創造的にまちづくりを行なっていく提言（「ひとのつながりが創り出す未来」など 6 項目）について詳しく解説がありました。続いて、四団体代表のコメントとして、岡本森廣会長から「人と人との関係性をデザインする私たちは行政等と協力する必要がある。」をはじめ、「我々の取り組みを上手くアピールしていかなければ。」「様々なプロジェクトに構想段階から建築

士が関与していく活動を行いたい。」「市民参加の大イベントを開きたい。」などがありました。再度、各提言委員からは、万博後の将来のまちのあり方を想像すること、経済界との協力関係、空家のストック活用が大切とする意見など相次ぎました。最後に、四団体が提言の実現に向けて議論を深め、取組みを進めていくことで締めくくり、本シンポジウムは盛況に修了しました。さて、私も提言委員会（計 16 名で構成）の一員となり、委員皆様と約 1 年、関西のまちづくりに関し議論する機会を与えていただき感謝しております。特に、策定作業を通じ再認識したのは、関西にはまちの魅力、人の力があるが、今後の建築活動やまちづくりの善し悪しが関西の将来の行く末を左右してしまう事です。

北野幹夫（まちづくり委員会担当理事）



提言後のこれからが本番となります。提言書をぜひお読みいただき（※本会のホームページに掲載）、提言に対する多くのご意見や、提言実現へのご協力をいただきますよう宜しくお願い致します。



主旨説明中の徳岡委員長と発表者



会場風景



四国唯一の女子大学におけるキャンパス再生プロジェクト。老朽校舎の建替えにより全体面積を縮小しながらイメージを一新し、運営基盤を再構築することが本事業の目的である。大小の教室から成る計画建物は、正門から奥の広場につづく新たなメインストリートを形成するために、既存棟と屋外廊下でつながる形式とした。これまで壁のように存在した急勾配の階段と板状建物を解体し、周辺地域と大学の親和性を大きく向上させている。建物のグラウンドレベルを開き、外部化した階段や通路をストリートに集約することで、学生の活動が風景となるような活気あるキャンパスへの再生を目指した。

(浜谷朋之・堀田健太)

所在地：愛媛県松山市
用途：学校
竣工：2019.03
構造規模：S造3階
敷地面積：38,060.50㎡
建築面積：932.00㎡
延床面積：1,932.10㎡
写真：野口兼史



芦屋川に沿って建つカトリック芦屋教会の司祭・信徒館の建替え計画。1階に事務所・司祭住居・公衆トイレといったプログラムを集約し既存聖堂床レベルと合わせた2階に川を望める大きなホールを配置している。各室には軒下の半外部空間からアクセスする形式とし、厳しい建蔽率制限の中で最大容積を確保しながら豊かな外部交流空間を創出した。景観地区の規制である勾配屋根は、教会への視線を遮らない形状の片流れとし、ホールの天井として表出させることで天井高の高い開放的なホールとした。地域に愛され育まれてきた教会建築とコミュニティがこの建築によってさらに発展することに期待したい。(松本猛、杉江順哉)

所在地：兵庫県芦屋市
用途：事務所、ホール他
竣工：2018.12
構造規模：鉄骨造2階建
敷地面積：1,263.29㎡
建築面積：164.48㎡
延床面積：272.81㎡
写真：エスエス 津田裕之



約50年の歴史ある地元密着型幼稚園の建替計画です。国・府・市の各行政の指導により、認定こども園の幼稚園として計画しました。

敷地内に、スクールバス・送り迎えの車の安全を配慮した、幼稚園では珍しい「ロータリー」を計画します。この「ロータリー」は室内中廊下にも直径5mの光庭を2カ所計画し、園児通行安全を配慮した2カ所の「ロータリー」を計画しました。

最後に建学の理念「あかるく」「すなおに」「すこやかに」を基本理念として、階段室壁面に配置したオリジナルな世界地図は、将来世界の人々の為に役立つ人間として育てほしいとの期待です。（野口健治）

所在地：大阪府泉南市
用途：認定こども園
竣工：2019.03
構造規模：RC造
地上2階
敷地面積：4,645.35㎡
建築面積：1,362.96㎡
延床面積：2,079.93㎡
写真：吉田正友

二〇一九年四月中旬、埼玉県立近代美術館から始まった「インポッシブル・アーキテクチャー」展の巡回先で前川國男の遺作の一つである新潟市美術館を訪れる機会があった。同展では、前川國男の出発点となる東京帝室博物館コンペ（一九三一年）落選案の模型制作と配置図再現を依頼され、学生たちと残された数少ない雑誌資料から何とか形にして出展した。そんな経緯から「戦前期の前川國男のコンペ案をめぐって」と題する講演会に招かれたのである。前回訪れたのは、「生誕一〇〇年前川國男建築展」が巡回された二〇〇六年なので、十三年ぶりとなる。新潟駅からタクシーに乗り、信濃川に架かる万代橋を渡ると、十分ほどで美術館に到着する。日本海を臨む海岸まで約五〇〇m、海の香りが漂ってくる。

前面道路を挟む対面には、美術館と共に前川の設計で整備された西大畑公園がある。訪れると、桜の木の下で、地元の祭りだろうか、たくさんの人々が楽しそうに弁当を広げ、子供たちが走り回っていた。そして、深緑色の炔器質の打込みタイルの外壁と独特な彫りの深い窓周りのディテールで構成された重量感のあるリズムカルなボリュームの集合体が、強い存在感を持ってその光景を包み込んでいた。一九八五年十月、前川の亡くなる半年前の開館から早くも三十四年、周囲の樹木も大きく育ち、美術館を含むこの場所一体が落ち着いた雰囲気になつて、上手に歳を重ねたことを実感できたことが、今回の再訪の何よりの収穫だった。国の合同庁舎に隣接する旧刑務所跡地に建つこの美術館の基本計画が発表されたのは、一九八二年三月のことである。続く六月から八月にかけて、前川の他に、太高正人、佐藤武夫、環境・建築研究所、安井建

築設計事務所、新潟県建築設計協同組合の六社による指名設計競技が行なわれ、入選した前川案によって建設された。審査員は、委員長の芦原義信と近江栄、池原義郎らが務めた。簡易なプロポーザル・コンペが一般化した現在からは想像もできないが、当時の応募要項を見ると、パネル張りA1サイズ、縮尺一／五〇〇の配置図、一／二〇〇の一般図、内観透視図二枚と、一／二〇〇の模型と詳細な説明書の提出を求めるなど、本格的なコンペだったことがわかる。

記憶の建築

松隈 洋

新潟市美術館 1985 年
第2の故郷新潟に残した遺作



西大畑公園から見る美術館全景



展示室ロビーから入口方向を見る

で現地説明会へ行つた。新潟は（前川）先生が幼少の頃を過ごした場所である。コンペへの意欲も、並々ならぬものがあつた。先生の案とチーフ案が、平行してすすめられた。先生のスケッチを基に、案を作成するのが、私の役目だった。先生は、パーキンソン氏病で、手がふるえるようになっていたが、毎日のように私の机に来て、スケッチをして行く。平面や断面、立面、パースなどが、ロールトレペに描かれる。それを、翌日まで形にしておかなければなら

提出前、追込みで休日も事務所に出ていると、先生が、差し入れを持って現れたりした。その年の秋、コンペで一等になったと知らせがあつた。（横山聡「前川國男の最晩年」『前川國男・弟子たちは語る』建築資料研究社二〇〇六年）

コンペチームのチーフは、一九五五年の入所で、東京文化会館（一九六一年）や東京都美術館（一九七五年）などを担当したベテランの高橋義明が務め、彼の下に、一九七四年入所の後藤伸一と横山、そして、アメリカから帰国して入所したばかりの横内敏人が加わっていた。説明書は後藤が、透視図と説明書のイラストは横内が担当し、コルク製の模型は学生たちが制作した。

想起こそは、一九八〇年前後は、最晩年の前川が、熊本県立劇場（一九八二年）、国立音楽大学講堂（一九八三年）、石垣市民会館（一九八六年）の指名コンペに連続当選を果たし、若手を中心に生き生きと仕事をしていた最後の時期にあたる。横山の回想にもあるように、前川は、パーキンソン氏病で不自由になりながらも、プランニング（空間構成）の方法論の追求を亡くなるまで続けていた。前川の没後に計画された常設展示室の増築（一九九四年）では、すでに独立していた後藤と横山の代わりに、高橋の下で筆者が設計を担当する。今はその高橋も若くして急逝した横山も鬼籍に入った。しかし、前川が生誕地で幼少期を過ごした第二の故郷でもある新潟に遺したこの美術館は、今も変わることなく、建築に命を注ぎ続けた前川の思いを伝えている。

私事ながら、一九八〇年四月に前川事務所に入所した筆者は、この時、国立音楽大学附属幼稚園（一九八三年）の設計チームの末席にいたが、同期の日本大学卒の横山聡がこの美術館のコンペチームに加わっていた。前川没後の二〇〇六年、彼が、当時の様子を次のように振り返っている。

「一九八二年、前川事務所は、新潟市美術館のコンペに指名された。（中略）まだ、新幹線が開通していなかったから、飛行機

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授、博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

第11回 建築人賞 発表

主催：公益社団法人 大阪府建築士会



審査委員長 乾 久美子

1969年 大阪府生まれ
1992年 東京藝術大学美術学部建築科卒業
1996年 イェール大学大学院建築学部修了
1996～2000年 青木淳建築設計事務所勤務
2000年 乾久美子建築設計事務所設立
2000～2001年 東京藝術大学美術学部建築科常勤助手
2011～2016年 東京藝術大学美術学部建築科准教授
2016年～ 横浜国立大学大学院Y-GSA教授



建築人賞記念盾「未来へ！」
グラスアーティスト 三浦啓子作

審査総評

建築人賞審査委員長 乾 久美子

この度は、第一一回を迎えました大阪府建築士会主催の建築人賞の審査委員長にご指名を頂きましてありがとうございます。数時間掛けてアドバイザーの島田陽^(※1)、香川貴範^(※2)両氏からアドバイスを頂きながら審査をし、建築人賞二作品と奨励賞二作品、佳作四作品を選定いたしました。

この建築人賞ですが、会報誌『建築人』のギャラリー欄に掲載された作品の中から選定します。まずは誌面にて一次審査を行い、一般・住宅部門を合わせて一〇作品を選定しました。その一次審査通過作品には、設計者に追加詳細資料を提出して頂き、その資料を読み込むことにより、毎月の建築人のページからでは汲み取れない情報も含めて判断しました。審査方法については、前任の審査委員長であられた古谷誠章先生の際には、公開プレゼンテーションや現地審査も行っていたようですが、今回は誌面と補足の追加詳細資料を基に審査をしたところ、やはり資料等だけの審査の限界も感じました。魅力的で気になる作品も数多くあり、いつか現地を訪れて見てみたいと思いました。

先ずは一般部門ですが、大手ゼネコン設計部や組織設計事務所の作品が多く、密度感がありました。技術力だけでなく作品性も高いものが集まっている、大変見ごたえのある作品が多かったと思います。続く住宅部門は、普段東京で設計している私の感覚からすると、少し違う

文脈でつくられているように感じる作品が多く、関西圏ならではの地域性が感じられて、興味深く拝見しました。

この会報誌『建築人』のギャラリー欄は、全ての建築士の作品を対象に掲載されているそうです。しかしながら今回はアトリエ事務所の若い設計者の応募が少ないという印象がありました。最近の関西は、若く素晴らしい建築家が多く活躍されているエリアとして認識していますので、そうした方もどんどん応募されるような賞になった方が、より一層この「建築人賞」が盛り上がるのではないのでしょうか。さらに応募者は、大阪の地に建つ作品だけでなく、また大阪府建築士会会員の方だけの賞でもないということなので、関西圏の様々な方が応募するような賞になれば良いと思いました。賞の仕組みというものが、変えられるのか分かりませんが、検討されると良いのではないかと思います。また、審査の際に気が付きましたが、現在のギャラリー欄には写真と設計趣旨のみで、図面の掲載がありません。建築作品を味わう情報としてはやや物足りないところであり、やはりプラン的な情報も誌面に載せたほうが良いと感じました。関西圏の作品をつぶさに見る機会は今なかなか無く、アドバイザーの先生方とこのような賞を審査させて頂くというのは、大変勉強になり非常に面白い時間となりました。今回は色々な発見があり、とても楽しく審査させて頂きありがとうございました。

※1 タトーキエタツ／島田陽建築設計事務所代表
※2 SPACEAGE 一級建築士事務所代表

●目的

公益社団法人大阪府建築士会では会報誌「建築人」を毎月発行しており、二〇一九年四月には第六五八号を数えました。本会の会員にとって重要な情報提供を行うとともに、建築作品発表の機会を設け、建築技術の普及や会員の相互研鑽に寄与することを目指しています。

「建築人賞」は「建築人」のGALLERY頁に掲載された全作品の中から特に機能性、社会性、デザイン性、先進性などにおいて優れたものを顕彰することで、建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的とし、「建築人」のプレゼンスをより高めていくことを意図して創設された賞です。

●審査経過

審査は公平性を重視するため、主に関西以外を抱点として活躍する建築関係者、学識経験者をお願いしています。この第一回からは横浜国立大学大学院教授の乾久美子氏を審査委員長としてお迎えしました。

今回の審査は二〇一八年に掲載された作品三十三点が対象となりました。一次審査は誌面より一般・住宅部門を合わせて計一一作品を選出、その後、設計者から追加で提出された詳細資料をもとに、三月一八日に本会会議室で二次審査を行い、最終的に建築人賞二点、奨励賞二点、佳作二点が選出されました。

入選作品は、いずれもその機能性、デザイン性、社会性などが高く評価されたのですが、これらを表彰し公表することによって、社会に対して建築の魅力や価値を発信し、建築文化の醸成に寄与できるものと考えています。また今後より多くの方に参加頂き、建築人賞が大阪から魅力ある建築情報を発信する動機として成長発展していくよう祈念しています。

建築情報部門長 飯田英二



建築人2018年12月号掲載

設計／竹中工務店
施工／竹中工務店

建築位置／大阪府茨木市
竣工年月／2018年8月
用途／展示場
構造・規模／S造1階
敷地面積／5,905.49㎡
建築面積／2,143.11㎡
延床面積／1,978.70㎡
写真／Nacasa&Partners Inc.
NAKAMICHI ATSUSHI



【選評】
国道沿いの交差点に位置するカーディーラーのショールームで、単に車を見せるだけでなく、アウトドアアメリカとタイアップをしながら新しいライフスタイルの提案と共に、車と人の関係性をかえていこうという意図をうまく建築の形に結び付けています。大きな面をぐるりと丸めて、建築全体を一枚の曲面として大胆に表現しています。それを裏付ける防水などの技術もしっかりとされていて、とても良く出来た建築だと思いました。世代的にはプログラム建築に影響を受けたであろう設計者が、ストリートに楽しみながらつくった感じがして、その伸びやかな表現に感心しました。また、サインや照明など細部に至るまでコントロールされていて、建築として総合的に優れた作品でした。



建築人2018年6月号掲載

設計／井上久実設計室
施工／西友建設

建築位置／大阪府枚方市
竣工年月／2018年4月
用途／専用住宅
構造・規模／木造平屋建
敷地面積／355.45㎡
建築面積／117.59㎡
延床面積／116.76㎡
写真／冨田英次



【選評】
親の敷地内に子世代の住宅を建てる計画ですが、大きな敷地の中に傾斜があり、低層分棟形式の建築をそっと置いているのが好ましく感じました。道路側からのアプローチには、可憐に咲いたツツジがのり面に植樹されていますが、この愛らしい庭の風景に、新しい増築棟がともよく馴染んで見えました。このような豊かさを伴う建築は、既存の恵まれた環境がないとつくれないので、うらやましいプロジェクトだと思いました。そうした中で奇をてらわず、妥当で倫理性の高い感覚を持つてつくられているのではないかと感じました。作品名にもなっているクロスルーフの効果も面白く、単調になりがちな住宅街の風景に対し、リズムをそえているように思いましたが、プレゼンの中に隣との関係に配慮した様子が表現されていて、良いと感じました。

建築人賞奨励賞 竹中研修所「匠」増築



【選評】
既存の研修施設に隣接する形でCLTパネルを用いて増築されたプロジェクトで、構造と意匠を意欲的にマッチングさせた作品です。CLTの標準架構によるポツ窓をさけ、鋼板補強により垂れ壁・腰壁のない開口部の実現や、床板のコーナー二方向はね出しの実現など、従来の制約を高い技術力でクリアし、意匠としても良く練られた力作です。床下を利用した空調や、二重壁による木造の遮音問題の解決などにも工夫が随所にみられ大変よく出来た建築だと言えます。設計・施工を併せもつ大手ゼネコンらしい技術トライアルで、これからのCLT建築の可能性の広がりを感じさせる作品だと思いました。

設計／竹中工務店
施工／竹中工務店
建築位置／兵庫県川西市
竣工年月／2018年2月
用途／研修所
構造・規模／木造（一部RC・S）
地上3階地下1階
敷地面積／79,889.76㎡
建築面積／328.90㎡
延床面積／1,209.20㎡
写真／伊藤 彰 /aifoto.jp

建築人賞奨励賞 Alegria Residence Utsubo Park



【選評】
狭小な敷地の中での一〇階建てということ、ほとんど塔のようなプロポーションです。プランと構造を工夫をしないと、普通には建たないと思いました。天空率を使いながら高層化し、ファサードを途中でずらすだけという単純な操作で、単調さから逃れられているように見えました。また、EV・階段コアを納め二方向避難をとるなど大変難しい平面計画だったと思いますが、さらっと解いているようなところがあり、また住戸内部では入って直ぐにちよつとした壁があつてキッチンを隠せる配慮があつたりと、使いやすそうな住宅になつていて細部まで良くできていると感心しました。また賃貸という条件下で、韋公園を見渡せる好立地を活かしている良い作品と思いました。

建築主／デジタルアトーン
設計／榎永一男建築研究所
施工／貫山建設
建築位置／大阪市西区
竣工年月／2018年1月
用途／店舗付き共同住宅
構造・規模／鉄筋コンクリート造
地上10階建
敷地面積／91.77㎡
建築面積／69.02㎡
延床面積／673.47㎡
写真／松村芳治

実施要項及び経過

●対象作品

会報誌建築人二〇一八年一月号～二〇一八年二月号
「GALLERY」掲載作品三三三三

●審査

第一次審査（三三三三から一三三三選出）
第二次審査（アドバイザー二名参加）

島田 陽 タトアーキテクトゥ／

島田陽建築設計事務所代表

香川貴範 SPACE SPACE

一級建築士事務所代表

●表彰式

令和元年度定時総会・式典 席上

日時／令和元年五月二二日（水）

会場／KKRホテル大阪三階

●入賞作品

建築人賞

トヨタカローラ新大阪名神茨木店

二〇一八年二月号掲載

CROSS ROOF の家 二〇一八年 六月号掲載

建築人賞奨励賞

竹中研修所「匠」増築

二〇一八年 六月号掲載

Alegria Residence Utsubo Park

二〇一八年 三月号掲載

建築人賞佳作

菅原天満幼稚園

二〇一八年一〇月号掲載

日本圧着端子製造名古屋技術センター

二〇一八年一二月号掲載

別館—Petit—

二〇一八年 九月号掲載

岸和田の家

二〇一八年 三月号掲載

a twigs house

二〇一八年 三月号掲載

建築人賞 設計者に賞状および記念盾を授与、

建築主・施工者に賞状を贈呈

建築人賞奨励賞 建築主・設計者・施工者に賞状を贈呈

建築人賞佳作 建築主・設計者・施工者に賞状を贈呈

建築人賞佳作

菅原天満幼稚園



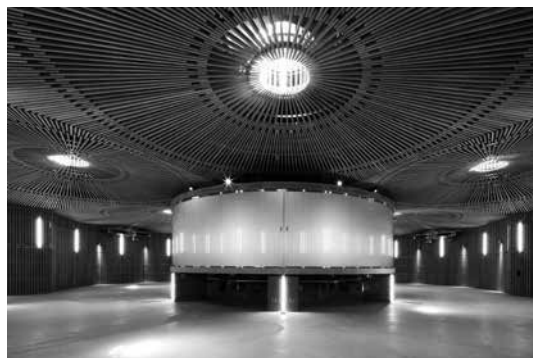
【選評】
既存施設を増改築する形で計画された幼稚園ですが、狭小な敷地を有効活用するためにつくられたピロティが特徴の、とてもチャームな作品です。ピロティはすこし暗そう
で、トイレの位置等、色々と謎めいた部分はあるのですが、ピロティ壁のゆがんだ円形の穴を通して、構造体を遊具のようにあつかうといった挑戦が感じられ、魅力的でした。立
面のシンメトリックなあり方も地域の建築として非常にも面白く存在になることに寄与
しているのではないかと感心させられました。近くに行ったら是非見に行ってみたい気が
します。

設計／アバクス・アーキテクツ
施工／真正工業

建築位置／大阪市東淀川区
竣工年月／2018年2月
用途／幼稚園
構造・規模／混構造 地上2階
(1階 RC造、2階 鉄骨造)
敷地面積／1,326.54㎡
建築面積／274.49㎡
延床面積／465.43㎡
写真／笹倉洋平

建築人賞佳作

日本住着端子製造 名古屋技術センター別館「Petri」



【選評】
とても工芸的で、新しく焼いたと思われる外
装タイルによる外観と、精緻なインテリアを
もった美しい建築です。非常に高い技術力で
設計され、ひとつの建築に対しておそらく大
変な時間と労力をかけておられるように思
いました。工場建築をここまで工芸的につく
るという発想そのものが目新しく、さすが関西
ならではのものを感じますが、一般的に工場
におけるプログラムと装飾的な内装のマッチ
ングは、近未来を予感させるほどの「もの」
をつくる空間が、今後どうなっていくのかと
いう主題に対して、色々な意味で考えさせら
れる建築です。

設計／Atelier KISHISHITA
施工／波多野工務店

建築位置／愛知県みよし市
竣工年月／2018年4月
用途／研究所
構造・規模／壁式 RC 造 1 階
敷地面積／18,236.98㎡
建築面積／546.60㎡
延床面積／613.08㎡
写真／絹巻 豊

建築人賞佳作

岸和田の家



【選評】
築三〇年という、比較的新しい木造住宅のリ
ノベーションです。外観は改修していないとい
うことで、内装的な作品ではあるものの、
がらりと雰囲気を変え、すごく快適そうな住
宅にリノベーションされています。特に既存
の庭が、生き活きたものに生まれ変わっ
ていて、施主も喜ばれたのではないかと想像
しました。リノベーションは、苦勞の多い仕
事と思いますが、それを引き受けて誠実に機
能的かつモダンにつくり替えることに成功し
ているようです。最近では「リノベーション
しさ」を追求する作品が多いですが、そのよ
うな行為の対象化が必要でなくともよいので
はないかということを考えさせられました。

設計監理／大西憲司設計工房
施工／匠家具工芸

構造監理／天野一級建築構造
設計事務所
建築位置／大阪府岸和田市
竣工年月／2018年6月
用途／専用住宅
構造・規模／木造（在来工法）
地上2階
敷地面積／380.00㎡
建築面積／155.00㎡
延床面積／172.19㎡
写真／福澤昭嘉

建築人賞佳作

a twigs house



【選評】
一般住宅でありながら山荘のような環境をも
つ住宅が存在するのは阪神間ならではの、他
の地域ではあまり見られないタイプの住宅で
す。プランは単純な一文字できれいに納める
よう計画されており、眼の前の崖に対しての
開かれ方もとても気持ち良く、快適な住宅だ
ろうと思います。ただ一方で、サーバント
スペースの豊かさや比べ、リビングダイニン
グなどにはもう少しボリュームがあっても良
いのではないかと思います。また、芦屋のよ
うな環境の中で豪華に向かうのではなく、慎
み深い外観をもっていますが、かつての開拓
者であろう第一世代の「品」のようなものを
取り戻そうとしているように思えました。

設計／マニエラ
建築設計事務所
施工／建築工房小林

建築位置／兵庫県芦屋市
竣工年月／2017年11月
用途／専用住宅
構造設計／うきょう建築構造事務所
構造・規模／木造平屋建
敷地面積／978.25㎡
建築面積／148.14㎡
延床面積／133.32㎡
写真／下村写真事務所

暑中見舞 2019

大阪府建築士会役員

見える社会貢献活動へ

宮崎 八郎

宮崎建築設計事務所
大阪市中央区西心斎橋1-1-11
(心斎橋西ビル8F)

柳川 陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル6F)

岡本 森廣

全日本コンサルタント株式会社
大阪市浪速区港町1-4-38

暑中お見舞申し上げます

澤本 侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スミタビル10F)

上田 茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

令和元年、新たな気持ちでスタートです

田中 義久

株式会社 田中都市建築事務所
(TANATOSHI DESIGN NET)
TANATOSHI Osaka 大阪市中央区本町橋5-14
(OZビル本町橋902)
TANATOSHI Tokyo 東京都大田区上池台1-7-16-218

濱田 徹

株式会社 イリア
大阪市中央区城見2-2-22
(マルイトOBPビル9F)

飯田 英二

株式会社 IMOデザイン
宝塚市武庫川町4-3-711

四会共同まちづくり提言書を実現させよう！

徳岡 浩二

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD.(YANGON)
大阪市中央区本町橋5番14号
(オージービル本町橋3階)
大阪・東京・滋賀・九州

人にやさしく

沼田 亘

株式会社 昭和設計
大阪市北区豊崎4-12-10

暑中見舞 2019

建築設計事務所

暑中おみまい申し上げます

夢ある未来の創造

宇澤 善一郎

ア ト リ エ ・ U
和泉市池田下町1699

奥村 雅一

株式会社 アール・アイ・エー
大阪市北区堂山町3-3
(日本生命梅田ビル)

湯浅 武夫

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

人、社会、地球環境との共生

金峰 鐘大

株式会社 IAO 竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

西村 清是

株式会社 浦辺設計
大阪市中央区北浜2-1-26
(北浜松岡ビル4F)

米井 寛

株式会社 東畑建築事務所
大阪市中央区高麗橋2-6-10

暑中お見舞い申し上げます

亀井 忠夫

株式会社 日建設計
大阪市中央区高麗橋4-6-2

横田 友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

佐野 吉彦

株式会社 安井建築設計事務所
大阪市中央区島町2-4-7

建設会社

 竹中工務店

取締役社長 佐々木 正人

大阪本店 大阪市中央区本町4-1-13
TEL06(6252)1201
東京本店 東京都江東区新砂1-1-1
TEL03(6810)5000

 大成建設
TAISEI

For a Lively World

常務執行役員関西支店長 加賀田 健司
関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

ナイスジョイント

ステンレス製＝給水・給湯・冷温水配管用管継手

ISO9001
ISO14001
認証取得

オーエヌ工業株式会社

代表取締役社長 中 村 政 弘

■本社・工場 〒708-0011 岡山県津山市上田邑3235-2
TEL (0868) 28-0171(代) FAX (0868) 28-4254

カメラ＋タッチパネル付きディスプレイを
搭載した新型ダムウェーター



総合エレベーターメーカー



小荷物専用昇降機 / ダムウェーター
人荷用・荷物用エレベーター
いす式階段昇降機 / 自由生活

本社：大阪市西区京町堀 1-12-20
TEL：0120-07-0570
HP：www.kumalift.co.jp



マンション・ビルの大規模修繕工事
高分子株式会社



www.koudenshi.co.jp

代表取締役 山口 朗

〒599-8271 大阪府堺市中区深井北町3418-1 TEL：072-278-4157(代表)

低炭素化の防水仕様で環境へ貢献



■ピロウエルドE新熱工法 ■シグマートE

日新工業株式会社

大阪支店 支店長 北村 克己

大阪支店：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-12-22
TEL 06-6533-3191(代表)

本 社：〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4
TEL 03-3882-2424(代表)

一般社団法人 大阪電業協会

会 長 前 田 幸 一

〒530-0055

大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル

TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079

ホームページ <https://www.osdenkyo.or.jp/>

「サービス提供」から「価値共創」へ



一般財団法人

日本建築総合試験所

理事長 井上 一 朗

〒565-0873 吹田市藤白台5-8-1

TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784

<https://www.gbrc.or.jp>

住まいに、人に、安心を。

住宅相談・住宅情報提供・各種研修事業
住宅展示場の企画・運営
住宅性能評価機関・住宅保険取扱機関



一般財団法人大阪住宅センター

大阪市中央区南船場四丁目4番3号 心斎橋東急ビル4階
電話番号 06-6253-0071

一般社団法人 日本建築材料協会

会 長 立 野 純 三

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F

TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348

支部 関東・中部・中国・四国・九州

<http://www.kenzai.or.jp>

暑中見舞 2019

建材・設備会社 他

一般社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

会長 古新亮英

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル3階
TEL 06(6271)0175 FAX 06(6271)0177

学校法人 福田学園

OCT 大阪工業技術専門学校 
OHSU 大阪保健医療大学
OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <http://www.fukuda.ac.jp>

建築・インテリア・土木・造園
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園

修成建設専門学校

理事長 山下裕貴

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目19番30号
TEL.06-6474-1644

DESIGNER'S NETWORK

株式会社 ディーネット

代表取締役 宗次健太

〒660-0828 尼崎市東大物町2-1-21 TEL.(06)6483-6308

オリジナル紙製グッズ

広告、イベント情報などを載せると、
宣伝効果もバツグン!

ネットショップも好評営業中

中和印刷 検索
URL <http://www.chuwa-print.com/>

変形うちわ
丸うちわ
かわいい形の
はがきなど

CHUWA
中和
since 1936

中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53番地
TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188

第12回 建築人賞

主催：公益社団法人 大阪府建築士会

公益社団法人大阪府建築士会では
本誌「建築人」の Gallery に掲載された建築作品を対象に
社会性、芸術性、時代性を考慮して、顕彰、公表することにより
建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的として
建築人賞を実施しています。

■ 審査委員長 乾 久美子



1969 大阪府生まれ
1992 東京藝術大学美術学部建築科卒業
1996 イエール大学大学院建築学部修了
1996～2000 青木淳建築計画事務所勤務
2000 乾久美子建築設計事務所設立
2000～2001 東京藝術大学美術学部建築科常勤助手
2011～2016 東京藝術大学美術学部建築科准教授
2016～ 横浜国立大学大学院Y-GSA教授

■ 表彰（設計者に対して）

建築人賞 （賞状と記念盾）

建築人賞奨励賞（賞状）

※建築主・施工者には賞状授与

■ 第12回 対象作品

「建築人」2019年1月号から2019年12月号まで
Gallery に掲載された建築作品

※建築種別、建築地を問わない。但し、竣工検査済証を受けたもの

■ 受賞発表

建築人 2020年7月号誌面（予定）

■ 問い合わせ

公益社団法人大阪府建築士会「建築人賞」係
担当／母倉 政美

TEL 06-6947-1961 FAX 06-6943-7103



建築人賞 記念盾 「未来へ！」

ガラスアーティスト 三浦啓子作

『建築人』 Gallery 掲載作品 募集中 2019

会報誌『建築人』では、Gallery に掲載する作品を
募集しています。

【掲載料】

カラー 2ページ 20万円

カラー 1ページ 10万円

詳しくは、公益社団法人大阪府建築士会『建築人』
Gallery 建築作品掲載係まで。

ユーザー対象の設計相談
住宅の設計者問い合わせ に対応する

登録者募集

(公社)大阪府建築士会 社会貢献部門 “住宅を設計する仲間達” 委員会

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ www.jutaku-nakama.com/
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 隅原まで
06-6947-1961 info@aba-osakafu.or.jp

住宅を設計する仲間達 建築士 リスト 2018-19

家づくりの

『住宅
大阪府
が得意な建
あなたにピッ
お問い合わせく

住宅を設計する仲間達
JUTAKU NAKAMA

トップページ

住宅を設計する仲間達とは

建築士に任せるメリット

具体的な流れ

まんが ～家作りストーリー～

土地の選び方

住宅ローンについて

建築士を探す

建築士に任せるメリットは何？

お知らせ

パネル展示＆セミナー @住まい

セミナー 3月5日

「建築家とつくる

パネル展示

「建築家とつくる

パネル展示＆セミ

ホームページの
抜粋版です

家づくりは、頼

「住宅を設計する仲間達」は、住宅を設

計するプロ（建築士 建築設計事務所）

の集まりです。3,000人が在籍する公益

社団法人大阪府建築士会は、住宅一帯の

設計事務所などの建築士を、平成8年に「住宅

設計者」として登録し、平成18年に「住宅

自然と住まいがやさしく調和することを心がけています。
風や光に季節を感じ、家族の一人ひとりにとって心地よく癒される住ま
いを“粋でおしゃれに”デザインさせていただきます。
吟味した杉で体がよるこぶ空気をつくり、子どもから大人まで 脳を元気
に健康で安全で安心して暮らせる家を丁寧につくらせて頂きます。

06-6927-1051
06-6927-1052
e-mail p-office-y@estate.ocn.ne.jp

理事会報告

文責 本会事務局

日時 六月十九日(水) 十六時～十八時

場所 本会会議室

出席 理事三五名 監事一名

(1) 六月の当期経常増減額は、収入五、八二二、二七九円、支出一一、五八五、九八五円、差引△五、七六四、七〇六円で、本年度累計の収支差引三四、八三三、九〇一円を報告して承認されました。

(2) 茨木市長から感謝状を授与

平成三〇年六月一八日に発生した大阪北部地震での災害復旧及び被災者支援の本会活動に対して、福岡洋一茨木市長からの感謝状を岡本会長に贈呈いただきました。

(茨木市への主な派遣活動)

三〇年六月二〇日～二八日に応急危険度判定士(延六八名)

三〇年七月一日～八月三十一日に住宅相談会(延六五名)

(3) マンション維持管理委員会の活動を円滑に行うために、アドバイザーの登録及び業務、受託業務の費用等に関する運営規程を承認しました。

(4) 本会が応募者となりインスペクション委員会を中心に大阪府及び住まい活性化フォーラム(事務局・府)と連携して、消費者向け普及啓発パンフレットやセミナー開催、テキスト作成を行う「空き家等既存住宅流通市場活性化に資するインスペクション等普及啓発事業」のための助成金(四、二二二千元)を国交省空き家モデル事業に応募申請することを承認しました。

(5) 日本建築士会連合会の会長表彰(四名)と伝統的技能者表彰(一名)の受賞を報告しました。

建築相談室から三十九

住宅博での相談2

文 橋本頼幸

本会の相談委員会では、毎週土日になんば住宅博と堺・泉北住宅博に相談員を派遣しています。午後一時から五時までの間に随時相談を受け付けています。今月も先月に引き続き住宅博で受けた相談についてまとめます。

相談①戸建て以外の相談も

住宅展示場での相談ですが、戸建住宅以外の相談、新築以外の相談もあります。「分譲マンションの戸境壁をとって広くしたい。ベランダのパーティションをとって出入りしているが、寒いので囲いたい」「マンションリフォームはどこに頼んだらいいの?」「購入したマンションに不具合箇所があるがどうしたらいいか?」「長屋のリフォームをしたい。真ん中の区画なので光が入らない。どんな工夫ができるか?」「台風により屋根に被害が発生した。展示場のどのメーカーの屋根がいいのか?」「母が住んでいた長屋の部分解体を計画しているが、注意点はあるか?」「建売住宅の間取り相談」「鉄骨造の中古物件購入について。その物件のリフォームについて」相談②純粋な建築相談

雑談のような相談も多くあります。分類しにくい相談も多いです。「現在工務店と契約に向けて打ち合わせ中。大工の腕によって差がでけると聞いたが実際はどうか」「間口の狭い敷地を所有している。建替え計画をしたが頓挫した。耐震と断熱が気になる。重量鉄骨がいいと聞いた。見積もりが細かすぎて素人では理解できなかつた。」「一階鉄筋コンクリート造、二三階木造の建物の鉄筋コンクリートをそのまま建て替えることは可能か?」「外構フェンスについて」「以前に一階の壁をとってガレージにした。昨年

耐震診断をすると、壁を戻さないと補強できないと言われた。補強するか新築するか迷っている。」「宅地内に隣地の最終枓がある。移設できるのか?」「間知ブロックは安全か?」「一つの土地・建物を七人で所有している。一人が建替えに反対している。どうしたらいいか?」「車を止めるために外構を変更したい。誰に相談したらいいか?」「市道に面してキッチンの掃出し窓がありシャッターが付いているが、防犯対策として日中はどうしたらいいか?」「鬼門について聞きたい」「しばらく日本を離れることになり現在所有している家をどうしたらいいか?」「障害を持つているが、現在の戸建てをリフォームして住み続けるか、マンションに引っ越すか?」

相談③お金にまつわる相談

展示場ですからお金にまつわる相談もしばしばあります。「ネット上の資金による税金について」「銀行から工事資金の融資を受ける場合の担保保証上限はいくらか?」「自宅を購入しようとしている。七十歳主人でローンは可能か?」「消費税率引き上げに関する相談」などなどです。

相談件数のばらつき

月ごとで相談件数を見るとばらつきがあることがわかります。なんば住宅博では、四月と九月がともに十四件とピークになっており、堺・泉北住宅博ではなんば住宅博同様に九月が九件とピークになっています。一方で、なんば住宅博の十二月は一日一件以上の相談があり(相談ゼロの日がない)、堺・泉北住宅博では二月が相談実施日八日のうち一日しか相談がないというばらつきが見られました。どちらの住宅博も駅から徒歩圏内ではありませんが、訪れる客層やそのニーズが微妙に異なることが集計結果に現れています。住宅博は、この二つの他に大阪・六地蔵・彦根に年に数回派遣されています。

編集後記

三谷勝章

近年の気候変動により、春、秋の期間も短く感じることも多くなってきました。日本では気温上昇も世界の中でも早いペースで上昇し、最高気温の更新、真夏日、猛暑日の日数の増加、ゲリラ豪雨、大雪、雹の増加と共に、自然生態系の変化として植生や野生生物の分布変化も確認されています。気候変動の影響に対する建築の適応が求められ、これまでの住まいのあり方、都市空間のあり方を見直す必要に迫られています。更に働き方の変化、モノ消費よりもコト消費へのシフトなどライフスタイルの在り方、超高齢化への人口構成の変化と様々な世の中の変化と多様性をいかに繋げ、良い社会とできるかを考えていきたいと思っています。

建築の設計を通じてどのようにこれらの変化に対応し、人、街、コトを支える新たな建築のかたち、価値をつくることができるかを、この紙面に関わる多様なメンバーと共に学び、考え、建築士会会員の皆様へ少しでも良質な情報をお届けし、お役に立てるよう努力して参りたいと思います。

建築人 7 2019

監修	公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門		
編集	建築情報部門『建築人』編集部		
部門長	飯田英二	笠井志保 茂籠一之 橋本頼幸 三谷勝章 若江直生 母倉政美	
委員長	高原浩之		
編集人代表	北 聖志		
編集人	梅田武宏		
	河合哲夫		
事務局	曾我部千鶴美	中和印刷紙器株式会社	
	牧野隆義		
	武藤優哉		
印刷	山本茂樹		

お客様は 1,500 社以上！
年間 3,500 件以上の受注実績！
環境 & 防災をワンストップ対応！

環境

防災

I T

豊富な実績と高い技術力で設計をサポート！



省エネルギー計算

・届出、適判、ZEB、ZEH など
100 人体制でサポート。



環境計画書

・CASBEE 届出、S ランクにも対応。



設計住宅性能評価

・目標等級取得のための事前チェック、
申請業務をサポート。



避難安全検証

・安全性を確保しつつ建設コストダウン。
・自由度の高い意匠デザインを支援。
・ルート B は多数受注、ルート C (大臣認定)
にも対応。
・今後はルート B 2 (区画避難安全検証法、
煙高さ判定法ほか) にも迅速に対応。



防災計画書

・大阪府や兵庫県などで求められる防災計画評定
をサポート。

環境 & 防災の講習会を随時開催！

- ・「建築物省エネ法 適合性判定のポイント」
- ・「非住宅建物 ZEB の概要」
- ・「高層 ZEH-M の概要と実例」
- ・「避難安全検証法の概要と設計のポイント」 etc.

社内研修やオーナー様向けの出張セミナーも
無料で承ります。ぜひお気軽にご相談ください。





HAT house ー生きていく住まいー 阿曾実美

新しい建築が生まれるとき、そこにはすでに歴史がある。この場所の歴史、住み手の思い出、設計者の経験、それらの文脈を汲み、ひとつの新たな歴史(建築)をつくる。この建築が長く愛され、生き続けていくために。

ひとつの建築が生まれる時、たくさんの「想い」や「期待」が詰め込まれて誕生する。これからたくさんの人に愛される建築となることを夢みて。

敷地は六甲山脈の麓、神戸市の閑静な住宅地にある。その昔、段々畑であった石積み擁壁を基盤に今では、六甲山にむかって住宅が積層している景色の途中にある。日当たりが良く、不揃いな住宅が建並びながらも、南面(海側)に開いた形状の住居が多く、ある種の均質さがある。

この計画では、内壁を南面(海側)の光に対し斜に構え、壁の軸を45度に傾けた。外壁は敷地形状通りに東西に細長い長方形とし、45度に延びる壁を間口5.8m、奥行き13mで一旦、囲いとった形としている。これにより、南の開口に対して5.8mしかなかった奥行きが、斜めに約8.2mとなることで、光のグラデーションがより明確に現れる。また、45度に傾けた壁により、東から西に移り変わる光を空間の奥行きの違いや素材の変化で光がクロスし、溶け合い、多次元にわたり光のディメンジョンを感じる。また、プランに回遊性をもたせ、あらゆる方位へ体感的な奥行きを発生させている。

撮影：小川重雄 第63回大阪建築コンクール渡辺節賞受賞作品

■プロフィール

阿曾 実美
1977 兵庫県神戸市生まれ
2000 金沢工業大学工学部建築学科卒業
2002 金沢工業大学大学院建築学専攻修了
2002-2006 小山隆治建築研究所
2006 阿曾実美建築設計事務所設立
2011-2013 大阪人間科学大学非常勤講師
2008 JIA KINKI U-40設計コンペティション
六甲山上の展望台「優秀賞」を受賞
2015 第10回 関西建築家新人賞を受賞

■建物データ

設計：阿曾実美建築設計事務所
施工：大垣林業株式会社
所在地：兵庫県神戸市
用途：事務所併用住宅
竣工：2017年9月
構造規模：木造地上2階
敷地面積：136.10㎡
建築面積：80.98㎡
延床面積：165.71㎡

